### ヘルスチェック機能

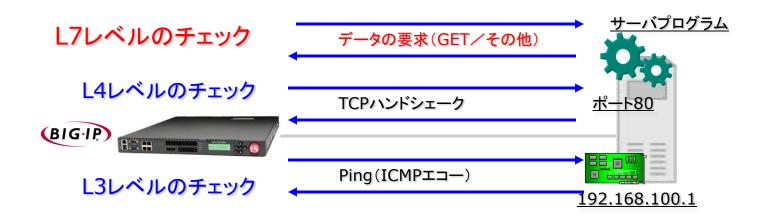
F5ネットワークスジャパン株式会社



## サーバの障害を検知する

#### Activeヘルスモニタ機能

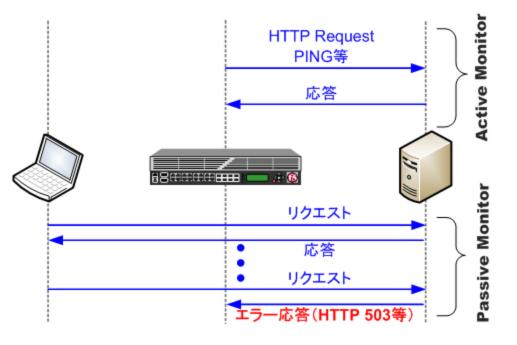
- L3~L7まで、さまざまな角度でサーバ障害を検知
  - L3チェック: ICMPエコーにより、ネットワークの接続状態を検知
  - L4チェック: TCPのハンドシェークにより、サーバの動作を検知
  - L7チェック(ECV/EAV): サーバへ擬似要求を出すことで、コンテンツの状態・複雑なサービス・UDPサーバの動作を検知
- 障害を起こしたサーバにはトラフィックを振り分けない



## サーバの障害を検知する

#### Passive ヘルスモニタ

- 実際のトラフィックのエラー 応答を検出してプールメンバー をDownさせることができます。
- Active Monitorとの併用が可能です。
- Pool Memberが・・・ upの間はPassive Monitorを、 downの間はActive Monitorを 使うといったことも可能です



# 対応しているプロトコル/アプリケーション

 L3 ICMP Echo

L4

TCP: Echo**の送信, コネクション確立確認**, Half Open**の確認** 

任意の文字列の送受信

UDP: 任意の文字列の送受信

L7

Diameter, RADIUS(Accounting), HTTP[S], FTP, IMAP, LDAP, MSSQL, MySQL, NNTP, Oracle, POP3, PostgreSQL, Real Server, SASP, RPC, SIP, SMB, SMTP, SOAP, WAP, WMI, FirePass, DNS

その他

External: BIG-IP内のプログラムの実行

Scripted: 任意の文字列の送受信の繰り返し

Inband: 実トラフィックがサーバに到達できたかどうかのチェック